

抜粋

みちのく盛岡広域 連携都市圏ビジョン



平成 28 年 3 月策定（平成 31 年 3 月改定）

盛岡広域首長懇談会 盛岡市

目 次

1	ビジョン策定の趣旨.....	1
2	連携中枢都市圏及び市町の概要.....	2
	(1) 連携中枢都市圏の名称.....	2
	(2) 圏域を構成する市町の概要.....	2
3	圏域の現状と課題.....	6
	(1) 人口.....	6
	(2) 雇用.....	15
	(3) 産業.....	17
	(4) 都市機能の集積.....	28
	(5) 盛岡広域圏の強みや弱み.....	43
	(6) 現状と課題のまとめ.....	45
4	圏域の中長期的な将来像.....	46
	(1) 圏域の中長期的な将来像.....	46
	(2) 将来像の実現に向けた基本方針.....	48
	(3) 成果指標（KPI）.....	50
	(4) 人口の将来見込み.....	54
5	具体的取組.....	57
	(1) 戦略1 産業の営みをつなぐ（圏域全体の経済成長のけん引）.....	59
	(2) 戦略2 人の流れをつなぐ（高次の都市機能の集積・強化）.....	75
	(3) 戦略3 暮らしの安心をつなぐ（圏域全体の生活関連機能サービスの向上）.....	76
6	取組期間と推進体制.....	104
	(1) 取組期間.....	104
	(2) 推進体制.....	104
	参考資料.....	参-1

(3) 成果指標 (KPI)

本ビジョンにおける戦略及び連携分野の進捗管理に用いる成果指標 (KPI) は、次のとおりとします。

(指標名の後の矢印が「↑」は、数値を上げていくことを目標とするもの。「→」は現状を維持していくことを目標とするもの。)

ア 戦略 1 産業の営みをつなぐ (圏域全体の経済成長のけん引)

指標名	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)	出所・出典
農林業圏域内総生産額 (↑)	3,589 千万円 (平成 24 年度)	<u>3,618 千万円</u> (平成 27 年度)	3,768 千万円	県政策地域部 「市町村民経済計算」
製造品出荷額等 (↑)	26,871 千万円 (平成 25 年度)	<u>32,074 千万円</u> (平成 28 年度)	28,215 千万円	経済産業省 「工業統計調査」
第三次産業の年間売上額 (↑)	251,457 千万円 (平成 24 年度)	<u>346,389 千万円</u> (平成 28 年度)	264,030 千万円	経済産業省「経済センサス」
圏域内観光客入込数 (↑)	999 万人回 (平成 26 年)	<u>950 万人回</u> (平成 29 年)	1,049 万人回 (平成 32 年)	県政策地域部 「統計年鑑」

(ア) 産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略実施のための体制整備

指標名	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)	出所・出典
圏域内事業所従業員数 (↑)	167,713 人 (平成 24 年度)	<u>172,294 人</u> (平成 28 年度)	176,000 人	経済産業省「経済センサス」

(イ) 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業支援、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

指標名	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)	出所・出典
創業支援計画における新規創業者延べ数 (↑)	519 件 (平成 29 年度末)	<u>729 件</u> (平成 29 年度末)	900 件	8 市町「創業支援計画」

(ウ) 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

指標名	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)	出所・出典
圏域内における製造業の一人当たり粗付加価値額 (↑)	<u>6,663 千円</u> (平成 26 年度)	<u>7,734 千円</u> (平成 29 年度)	<u>7,000 千円</u>	経済産業省 「工業統計調査」

(エ) 戦略的な観光施策

指標名	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年)	出所・出典
圏域内観光客入込数 (↑)	999 万人回 (平成 26 年)	<u>950 万人回</u> (平成 29 年)	1,049 万人回	県政策地域部 「統計年鑑」

イ 戦略 2 人の流れをつなぐ (高次の都市機能の集積・強化)

指標名	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)	出所・出典
広域バス路線数 (→)	93 路線 (平成 26 年 9 月)	<u>88 路線</u> (平成 30 年 9 月)	93 路線	盛岡市
圏域内の JR 線及び IGR いわて銀河鉄道線各駅の乗降客数の合計 (↑)	54,146 人 (平成 26 年度)	<u>54,738 人</u> (平成 29 年度)	57,000 人	東日本旅客鉄道株式会社 IGR いわて銀河鉄道株式会社

(フ) 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

指標名	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)	出所・出典
広域バス路線数 (→)	93 路線 (平成 26 年 9 月)	<u>88 路線</u> (平成 30 年 9 月)	93 路線	盛岡市

ウ 戦略 3 暮らしの安心をつなぐ (圏域全体の生活関連機能サービスの向上)

指標名	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)	出所・出典
圏域内就業者数 (↑)	231,055 人 (平成 22 年度)	<u>235,895 人</u> (平成 27 年度)	243,000 人	総務省「国勢調査」
大学卒業生の県内就職率 (↑)	45% (平成 26 年度)	<u>43%</u> (平成 29 年度)	55%	岩手大学ほか「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」
圏域全体の生活関連機能サービスの向上に係る連携事業数(都市圏ビジョンの実施事業数) (↑)	24 事業 (平成 28 年 12 月末)	<u>28 事業</u> (平成 30 年度)	30 事業	盛岡市

(ア) 生活機能の強化に係る政策分野

a 地域医療

指標名	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)	出所・出典
小児救急輪番日 患者数 (→)	5,666 人 (平成 27 年度)	<u>5,735 人</u> (平成 29 年度)	5,800 人/年	盛岡地区二次救急 医療対策委員会
二次救急輪番日 患者数 (→)	16,523 人 (平成 27 年度)	<u>16,255 人</u> (平成 29 年度)	17,000 人/年	盛岡地区二次救急 医療対策委員会

b 介護

指標名	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)	出所・出典
介護保険サービ スの利用率 (→)	91.6% (平成 28 年 9 月 末)		91.6%	8 市町

c 福祉

指標名	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)	出所・出典
<u>盛岡市から各広 域市町の保育所 等へ、各広域市 町から盛岡市の 保育所等へ入所 を希望した児童 の内、入所に至 った児童の割合 (→)</u>	<u>55.0%</u> (平成 29 年 3 月末)	<u>73.7%</u> (平成 30 年 11 月末)	<u>77.4%</u>	8 市町
圏域における障 がい者の相談件 数 (→)	8,266 件 (平成 27 年度)	<u>5,371 件</u> (平成 29 年度)	8,300 件/年	8 市町

d 教育・文化・スポーツ

指標名	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)	出所・出典
圏域内の社会 教育・スポーツ 施設利用者数 (↑)	5,161,154 人 (連携中枢都市 宣言時点で把握 した値の合計)	—	5,419,000 人	盛岡市「連携 中枢都市宣言 書」

e 地域振興

指標名	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)	出所・出典
圏域内における 29 歳以下の就 業者数 (↑)	37,760 人 (平成 22 年度)	<u>34,290 人</u> (平成 27 年度)	34,300 人	総務省「国勢 調査」

f 災害対策

指標名	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)	出所・出典
災害用非常食糧 の備蓄数 (↑)	38,240 食 (平成 29 年 3 月末)	<u>47,910 食</u> (平成 30 年 3 月末)	87,000 食	8 市町
南岩手山岳遭難 隊員の訓練受講 者数 (→)	50 人 (平成 27 年度)	<u>54 人</u> (平成 29 年度)	50 人/年	南岩手山岳遭 難対策委員会 事務局

g 環境

指標名	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)	出所・出典
広域 8 市町のリ サイクル率の平 均値 (↑)	18.2% (平成 26 年度)	<u>17.7%</u> (平成 28 年度)	20.35%	8 市町

(イ) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

a 道路等の交通インフラの整備・維持

指標名	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)	出所・出典
整備予定区間の うち供用できた 延長割合 (↑)	0% (平成 28 年度)	<u>0%</u> (平成 30 年度)	100%	盛岡市

b 地域内外の住民との交流・移住促進

指標名	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)	出所・出典
インターンシッ プへの参加事業 者数 (↑)	64 企業 (平成 28 年度)	85 企業 (平成 29 年度)	90 企業	8 市町

c 上記に掲げるもののほか、結びつきやネットワークの強化に係る分野

指標名	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)	出所・出典
圏域の消費生活 相談における解 決率 (↑)	98.7% (平成 27 年度)	<u>98.4%</u> (平成 29 年度)	99.0%	盛岡市

(ウ) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

a 人材の育成

指標名	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)	出所・出典
広域他市町の研 修に参加した職 員の割合 (↑)	7.6% (平成 27 年度)	<u>8.2%</u> (平成 29 年度)	9.0%	8 市町

b 圏域内市町の職員等の交流

指標名	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)	出所・出典
圏域内市町の職 員の交流に係る 検 討 会 議 回 数 (→)	1 回 (平成 28 年度)	<u>1 回</u> (平成 29 年度)	1 回/年	盛岡広域首長懇 談会人材育成部 会
国民健康保険事 業に関する会 議・研修会の参 加者数 (→)	318 人 (平成 28 年度)	<u>365 人</u> (平成 29 年度)	318 人/年	国保盛岡地区 協議会事務局

(4) 人口の将来見込み

ア 各市町の人口ビジョンにおける将来の人口見込み

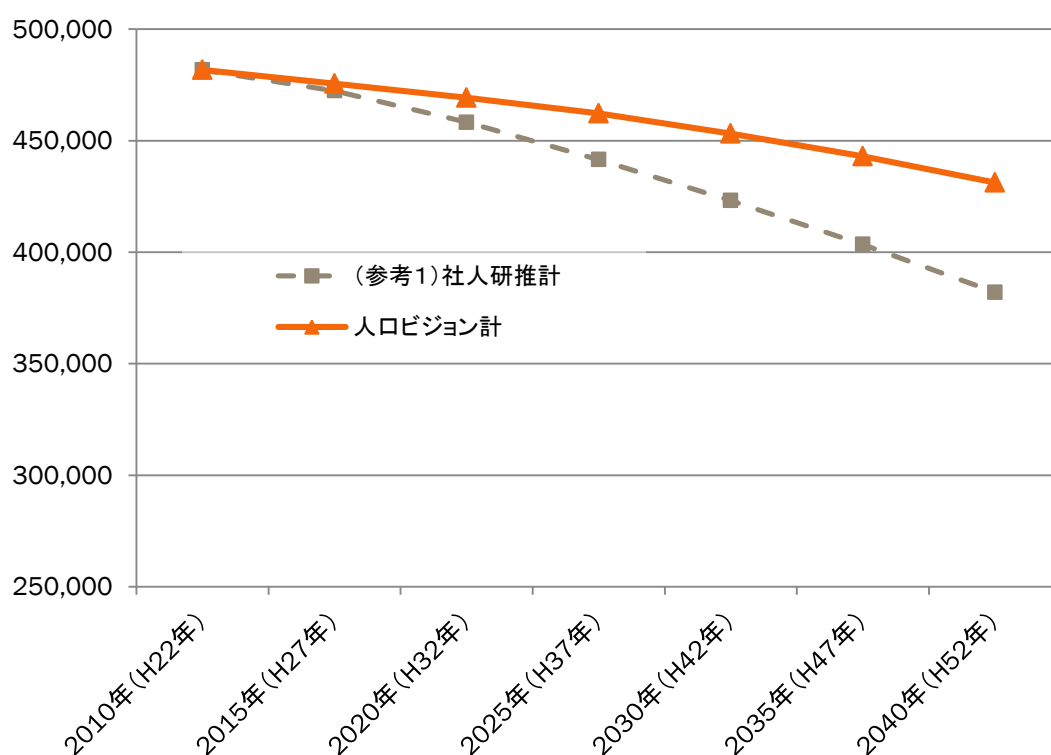
まち・ひと・しごと創生法（平成 26 年法律第 136 号）に基づく地方版総合戦略の策定に当たり、圏域内の各市町が作成した人口ビジョンにおける将来の人口見通しを合算した場合、平成 52 年の圏域の人口は、43 万人強となります。なお、この人口ビジョンは、各市町単位で作成していることから、人口の将来見通しには、圏域内各市町間の人口の移動を含むものとなります。

表 1 各市町の人口ビジョンにおける人口見込み

市町名	現在の人口	(参考) 国勢調査結果	各市町の人口ビジョンにおける人口見込み					
	2010年 (H22年)	2015年 (H27年)	2015年 (H27年)	2020年 (H32年)	2025年 (H37年)	2030年 (H42年)	2035年 (H47年)	2040年 (H52年)
盛岡市	298,348	297,631	296,251	291,470	285,610	279,358	272,094	263,672
八幡平市	28,680	26,355	26,527	24,712	22,964	21,377	20,016	18,800
滝沢市	53,857	55,463	55,453	56,595	57,424	57,865	57,939	57,608
雫石町	18,033	16,981	17,498	17,282	16,973	16,603	16,239	15,797
葛巻町	7,304	6,344	6,340	5,748	5,255	4,803	4,390	4,027
岩手町	14,984	13,692	13,888	12,916	12,265	11,630	11,047	10,489
紫波町	33,288	32,614	32,837	32,201	31,426	30,776	30,115	29,575
矢巾町	27,205	27,678	26,519	28,119	30,241	30,841	31,257	31,451
合計	481,699	476,758	475,313	469,043	462,158	453,253	443,097	431,419

(出典：各市町人口ビジョン)

図 1 各市町の人口ビジョンにおける人口見込み



(出典：各市町人口ビジョン，国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口推計（平成 25 年 3 月推計）」)

イ 本ビジョンの取組に基づく人口の社会移動の将来見通し

本ビジョンに掲げる取組を実施しその成果が表れた場合，人口の圏域外への流出が一定程度食い止められると想定されます。

その結果として，本ビジョンでは，圏域の平成 52 年時点での人口がおよそ 40 万人となるものと見込みます。国立社会保障・人口問題研究所が実施した人口の将来

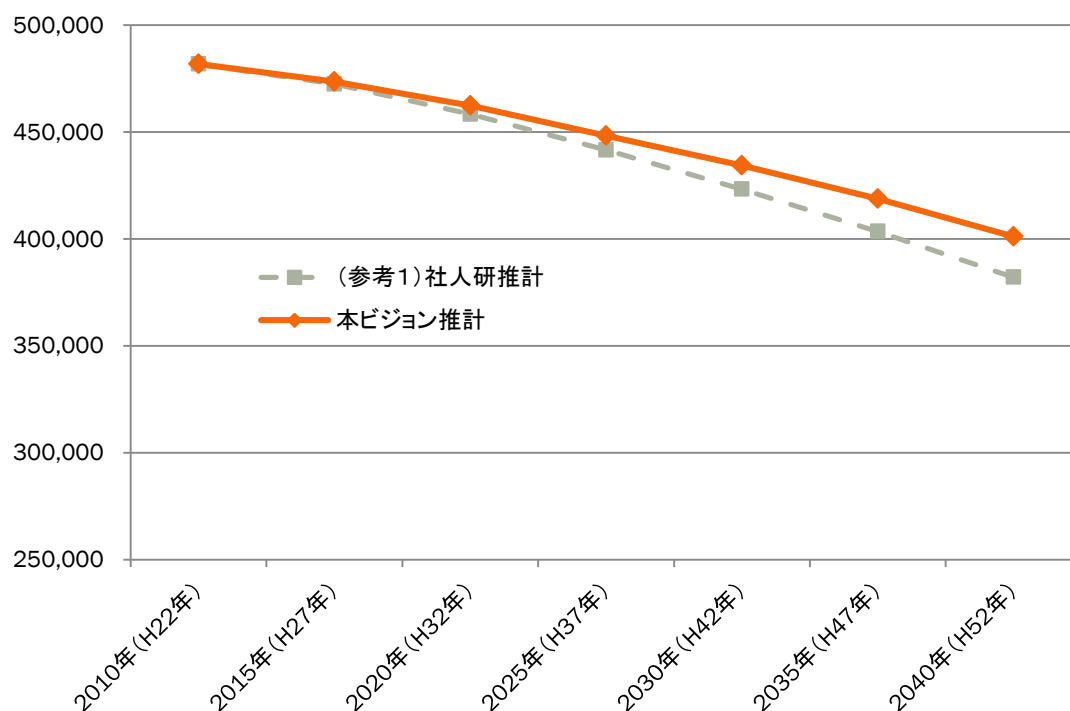
推計における平成 52 年の圏域の人口およそ 38 万人に対し、本ビジョンの取組により圏域外への人口流出を 2 万人程度抑制することを目指すこととなります。

表 2 本ビジョンの取組の成果に基づく圏域の将来人口の推計値

推計種別	現在の人口	将来推計人口					
	2010年 (H22年)	2015年 (H27年)	2020年 (H32年)	2025年 (H37年)	2030年 (H42年)	2035年 (H47年)	2040年 (H52年)
本ビジョン推計①	481,699	473,461	462,229	448,217	434,241	418,719	401,116
社人研推計②	481,699	472,389	458,260	441,523	423,161	403,453	382,024
差①－②	0	1,072	3,969	6,694	11,080	15,266	19,092

(出所：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 25 年 3 月推計）」，盛岡市作成)

図 2 本ビジョンの取組の成果に基づく圏域の将来人口の推計値



(出所：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 25 年 3 月推計）」，盛岡市作成)

なお、本ビジョンの取組に基づく人口の将来見通しについては、圏域外への人口の流出を食い止めるという本ビジョンの基本的な方向性に沿って、国立社会保障・人口問題研究所が実施した人口の将来推計のうち、純移動率の見通しを補正することにより算出しています。詳細は、参考資料として巻末に掲載しています。

5 具体的取組

本ビジョンに基づき実施する具体的取組は、各市町が実施する事業のうち、連携することにより成果が向上する、あるいはコストの削減が見込まれる等、各市町にメリットがあるもので、連携協約に基づき各市町間で協議を行い定めるものとなります。

図 3 本ビジョンにおける連携事業の位置付けのイメージ

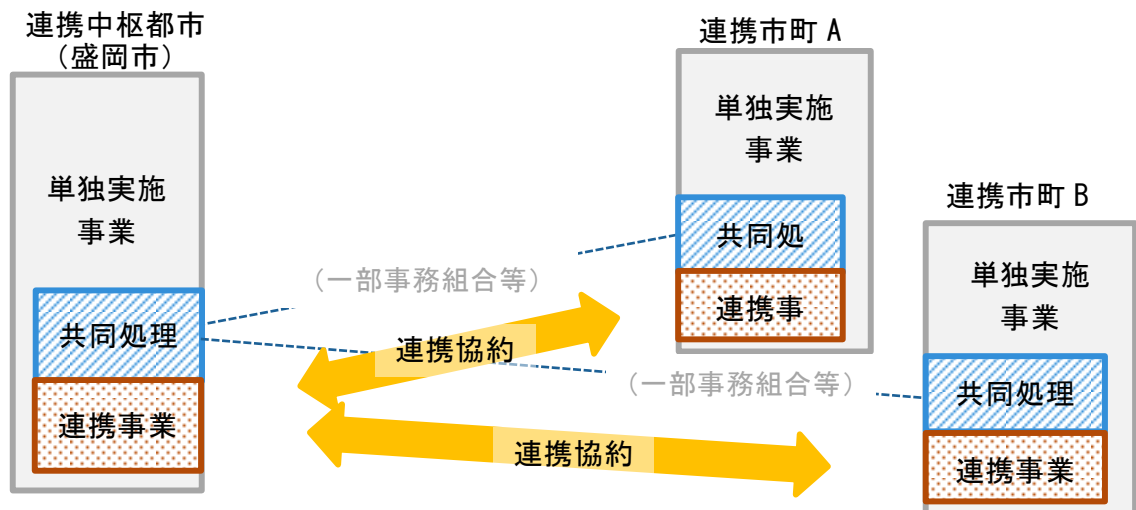


表 11 本ビジョンにおける実施を計画する事業一覧

NO	事業名	関係市町
1	ものづくり人材育成事業	8市町
2	東京事務所共同運営事業	8市町
3	業種間交流促進事業	8市町
4	創業支援事業	8市町
5	産学官連携の推進	8市町
6	圏域市町の連携による企業誘致の推進	8市町
7	盛岡広域まるごとフェア開催事業	8市町
8	食料品の輸出の促進に向けた検討	8市町
9	圏域の産品を生かした洋生菓子の生産拡大等に向けた検討	8市町
10	6次産業化の推進	8市町
11	盛岡手づくり村における圏域産品等の情報発信	8市町
12	盛岡手づくり村振興事業	8市町
13	広域観光推進事業	8市町
14	国際観光客誘致促進事業	8市町

<u>N0</u>	<u>事業名</u>	<u>関係市町</u>
<u>16</u>	<u>M I C E の誘致推進</u>	<u>8 市町</u>
<u>17</u>	<u>盛岡広域フィルムコミッション事業</u>	<u>8 市町</u>
<u>18</u>	<u>いわて・盛岡広域観光センター運営支援事業</u>	<u>8 市町</u>
<u>19</u>	<u>教育旅行誘致事業</u>	<u>8 市町</u>
<u>20</u>	<u>スポーツツーリズム推進事業</u>	<u>8 市町</u>
<u>21</u>	<u>（仮称）新盛岡バスセンター整備事業</u>	<u>8 市町</u>
<u>22</u>	<u>盛岡保健医療圏域における救急医療体制に関する検討</u>	<u>8 市町</u>
<u>23</u>	<u>小児救急輪番制病院事業</u>	<u>8 市町</u>
<u>24</u>	<u>第二次救急医療対策事業</u>	<u>8 市町</u>
<u>25</u>	<u>医療と介護の連携事業</u>	<u>8 市町</u>
<u>26</u>	<u>盛岡広域シルバーケア S O S ネットワークシステム</u>	<u>8 市町</u>
<u>27</u>	<u>保育所の広域入所</u>	<u>8 市町</u>
<u>28</u>	<u>配偶者暴力相談支援センター広域連携事業</u>	<u>8 市町</u>
<u>29</u>	<u>障がい者相談支援事業</u>	<u>8 市町</u>
<u>30</u>	<u>国体開催に係る取組状況と連携</u>	<u>8 市町</u>
<u>31</u>	<u>全日本ジュニアスキー選手権大会アルペン競技・種目スーパー大回転兼「世界アルペン開催記念」全日本選抜ジュニアスキー選手権大会</u>	<u>盛岡市，滝沢市，雫石町</u>
<u>32</u>	<u>スポーツ施設広域利用促進に向けた検討</u>	<u>8 市町</u>
<u>33</u>	<u>日本遺産認定推進事業</u>	<u>盛岡市，矢巾町</u>
<u>34</u>	<u>特別天然記念物ニホンカモシカ滅失処理事業</u>	<u>盛岡市，八幡平市，滝沢市，雫石町，岩手町，紫波町，矢巾町</u>
<u>35</u>	<u>もりおか就職面談会等</u>	<u>8 市町</u>
<u>36</u>	<u>若者の就業支援事業</u>	<u>8 市町</u>
<u>37</u>	<u>自然災害等対策推進事業</u>	<u>8 市町</u>
<u>38</u>	<u>震災対応事業</u>	<u>8 市町</u>
<u>39</u>	<u>南岩手山岳遭難対策事業</u>	<u>盛岡市，滝沢市，雫石町</u>
<u>40</u>	<u>県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想支援事業</u>	<u>8 市町</u>
<u>41</u>	<u>幹線道路整備事業（津志田白沢線）</u>	<u>盛岡市，矢巾町</u>
<u>42</u>	<u>幹線道路整備事業（市道谷地頭線（厨川工区））</u>	<u>盛岡市，滝沢市</u>

<u>N0</u>	<u>事業名</u>	<u>関係市町</u>
<u>43</u>	<u>インターンシップ事業</u>	<u>8市町</u>
<u>44</u>	<u>消費者行政の共同実施</u>	<u>8市町</u>
<u>45</u>	<u>人材の育成</u>	<u>8市町</u>
<u>46</u>	<u>圏域内市町の職員の交流</u>	<u>8市町</u>
<u>47</u>	<u>国保盛岡地区協議会事業</u>	<u>8市町</u>
<u>67</u>	<u>U I J ターン就職支援事業</u>	<u>8市町</u>
<u>68</u>	<u>盛岡広域移住・定住促進事業</u>	<u>8市町</u>
<u>69</u>	<u>地域おこし協力隊活動支援事業</u>	<u>8市町</u>
<u>70</u>	<u>電子入札等基盤整備事業</u>	<u>8市町</u>
<u>71</u>	<u>医療的ケア児支援連携事業</u>	<u>8市町</u>
<u>72</u>	<u>(仮称)盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会事業</u>	<u>8市町</u>
<u>73</u>	<u>岩手県央へい獣処理協議会事業</u>	<u>盛岡市，滝沢市，雫石町，紫波町，矢巾町</u>

(1) 戦略1 産業の営みをつなぐ（圏域全体の経済成長のけん引）

ア 産学金官民一体となった経済戦略の策定，国の成長戦略実施のための体制整備

見込まれる成果

・戦略産業の育成等，経済成長のけん引を支える人材が育成され，圏域内の企業が求める人材の確保が進むと見込まれる。

成果指標（KPI）	成果指標設定時値	現状値	目標値 （平成32年度）
圏域内事業所従業者数（↑）	167,713人 （平成24年度）	<u>172,294人</u> <u>（平成28年度）</u>	176,000人
（出所・出典）経済産業省「経済センサス」			

○実施を計画する事業

(★:新たに各市町で連携して取り組む事業, ☆:これまでの連携内容を拡充する事業)

No,	1	事業名	ものづくり人材育成事業【★】			
関係市町名	8市町					
事業概要	ものづくりを担う人材を育成し、地元への定着を促進するために、圏域の企業や大学、商工団体、行政が連携し、組織化や育成プログラム構築などの仕組みづくりを行う。					
見込まれる成果	人材育成に寄与することで、広域圏におけるものづくり事業の推進を図ることができる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	0	0	390	390	500	1,280
役割分担、費用負担	盛岡市	・市内企業、大学、商工団体等との調整及び仕組みづくりを検討する。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・各市町の企業、大学、商工団体等との調整及び仕組みづくりを検討する。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成32年度)
出前講座等の参加企業数（↑）		0社 (平成28年12月末)		3社 (平成30年12月末)		40社
(出所・出典) 盛岡市						

No,	2	事業名	東京事務所共同運営事業【★】			
関係市町名	8 市町					
事業概要	盛岡市が設置している東京事務所について、盛岡広域構成市町の共同による運営の可能性を調査・検討するとともに、当面、企業誘致や観光、移住・定住に関する情報発信を行うなど、各事業の実施拠点として共同利用を図る。					
見込まれる成果	東京事務所を活用することで、圏域の情報等を効率的に収集・発信することを見込むもの。なお、商工観光以外の分野については、計画期間内の検討・対応とする。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	0	0	0	0	0	0
役割分担、費用負担	盛岡市	・本事業を実施するとともに、広域的調整を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・本事業の実施に協力して取り組む。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標	成果指標設定時値		現状値		目標値(平成 32 年度)	
観光物産推進に係るイベント支援等回数(↑)	14 回/年 (平成 29 年度)		-		30 回/年	
企業誘致推進に係る企業訪問等の回数(↑)	19 回/年 (平成 29 年度)		-		50 回/年	
(出所・出典) 盛岡市						

○今後検討する事業（★：新規事業，☆：拡充事業）

事業名	事業概要
中核人材の育成に向けた検討【★】	企業の中核を担う人材や企業の後継者の育成方策について検討を行う。

イ 産業クラスターの形成，イノベーション実現，新規創業支援，地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

見込まれる効果

・圏域内の人や企業の連携が強化されることにより，圏域の強みを生かした戦略産業が育成され，圏域内の経済循環の促進及び関連産業における付加価値の向上が見込まれる。

成果指標（KPI）	成果指標設定時値	現状値	目標値 （平成 32 年度）
創業支援計画における新規 創業者延べ数（↑）	519 件 （平成 28 年度末）	<u>729 件</u> （平成 29 年度末）	900 件
（出所・出典） 8 市町「創業支援計画」			

○実施を計画する事業（★：新規事業，☆：拡充事業）

No,	3	事業名	業種間交流促進事業【★】			
関係市町名	8 市町					
事業概要	業種間交流に取り組んでいる団体が対象や活動範囲を盛岡広域圏に拡大する際、組織強化や交流・研修活動等を支援する。					
見込まれる成果	本事業により、広域の業種の垣根を越えた交流を図り、既存事業の拡大や新たな事業展開が期待できるとともに広域経済の活性化が図られる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	0	0	0	791	791	1,582
役割分担、費用負担	盛岡市	・ 市内関係団体や各市町との広域的な調整を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・ 各市町の関係団体等との調整を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成 32 年度)
イベントへの参加者数（↑）		0 人 (平成 28 年度)		0 人 (平成 29 年度)		120 人
(出所・出典) 盛岡市						

No,	4	事業名	創業支援事業			
関係市町名	8 市町					
事業概要	盛岡広域において、国の認可を受けた「創業支援事業計画」に基づき、起業家塾・セミナーの開催や、「もりおか起業ファンド」の設立などを通じ、新規創業者・起業家へ支援を行う。					
見込まれる成果	圏域内の市町の境を越えて創業支援を受けることができるため、より創業しやすい環境の形成が図られる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	400	400	400	400	400	2,000
役割分担、費用負担	盛岡市	・本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・本事業の実施に協力して取り組む。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成 32 年度)
起業家塾@もりおか参加者のうち起業した者の数(累計)（↑）		3 人 (平成 28 年度)		7 人 (平成 30 年度)		16 人
(出所・出典) 盛岡市						

No,	5	事業名	産学官連携の推進【★】			
関係市町名	8 市町					
事業概要	盛岡市産学官連携研究センター等の活用等により，企業が抱える技術的問題の解決や新製品・新技術の研究開発等を支援する。					
見込まれる成果	他市町の企業が盛岡市産学官連携研究センター等を活用することにより，圏域全体の企業の底上げにつながる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	32, 638	34, 739	<u>34, 307</u>	<u>36, 841</u>	<u>36, 841</u>	<u>175, 366</u>
役割分担，費用負担	盛岡市	・盛岡市産学官連携研究センター等を運営する。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・滝沢市 IPU イノベーションセンターを運営する（滝沢市）。 ・事業実施に要する費用を負担する（滝沢市）。 ・各市町の企業と産学官連携研究センター等の施設とのマッチングに向けた調整を行う（各市町）。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成 32 年度)
大学との共同研究により開発された新商品延べ件数(↑)		11 件 (平成 28 年 12 月末)		<u>12 件</u> (平成 30 年 12 月末)		19 件
(出所・出典) 盛岡市・滝沢市						

No,	6	事業名	圏域市町の連携による企業誘致の推進				
関係市町名	8 市町						
事業概要	首都圏での企業立地セミナーの開催， トップセミナー， 在京盛岡広域産業人会の活用による人的ネットワーク化などを行う。						
見込まれる成果	共同企業誘致に係る各市町間の役割分担を明確にすることで， より高い誘致効果が期待できる。						
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計	
	2, 835	2, 835	2, 835	2, 835	2, 835	14, 175	
役割分担，費用負担	盛岡市	・ 圏域内への企業誘致に向けた事業に取り組むとともに， 広域的な調整を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。					
	各市町	・ 圏域内の企業誘致に向けた事業実施に協力して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。					
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成 32 年度)	
圏域市町における誘致企業延べ数(↑)		2 件 (平成 28 年 12 月末)		4 件 (平成 30 年 12 月末)		7 件	
(出所・出典) 8 市町							

○今後検討する事業（★：新規事業，☆：拡充事業）

事業名	事業概要
(仮称)食産業連携強化事業の実施の検討【★】	圏域の農業生産者及び商工業者や飲食店関係者等，食産業に関わる事業者を対象とした，事業マッチングのためのセミナー等を開催する。
クリエイティブ産業の育成【★】	クリエイティブ産業と他分野の連携により，新たな価値の創造やニーズの発掘につながる新規性・独創性のあるプロジェクトを支援する。
産業振興組織の共同設置の検討【★】	圏域企業の新分野進出支援や起業家支援，産業間交流などの産業振興に係る事業を行う組織を圏域で共同設置することについての検討を行う。
盛岡広域圏「ぐるっとグリーンツーリズム」の検討【★】	これまでの市町村単位の農家民泊を主体としたグリーンツーリズムではなく，各市町の特徴ある農業体験を組み合わせたグリーンツーリズム事業の構築を検討する。
地域 I C T 活用事業【★】	農林業・医療・介護などの地域課題解決のため I C T の活用方策について，調査・研究を行う。
再生可能エネルギーの利用促進【★】	再生可能エネルギーを利用して発電した電力を圏域内で消費する事業スキームを構築する。
新規就農者への支援【★】	新規就農者等の掘り起こしや支援を行う。

ウ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

見込まれる成果

- ・各市町の地域資源の発信力が強化される。
- ・圏域内の地域資源の連携を強化することにより新たな技術開発や産品等の創出が図られ、圏域内の経済循環の促進及び関連産業における付加価値の向上が見込まれる。

成果指標（KPI）	成果指標設定時値	現状値	目標値 （平成 32 年度）
圏域内における製造業の一人当たり付加価値額（↑）	6,173 千円 （平成 24 年度）	<u>6,287 千円</u> （平成 26 年度）	6,482 千円
（出所・出典）経済産業省「工業統計調査」			

○実施を計画する事業（★：新規事業，☆：拡充事業）

No,	7	事業名	盛岡広域まるごとフェア開催事業			
関係市町名	8 市町					
事業概要	盛岡広域 8 市町の物産品販売やご当地グルメの販売を通じて、盛岡広域圏の魅力を発信する。					
見込まれる成果	広域 8 市町等の連携により、効率的に地域の魅力を発信できる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	867	867	867	867	867	4,335
役割分担、費用負担	盛岡市	・主催する実行委員会との連絡調整を行う。 ・事業実施に要する費用（商工会議所に対する補助金）を負担する。				
	各市町	・本事業の実施に協力して取り組む。 ・事業実施に要する費用（商工会に対する補助金）を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成 32 年度)
イベント入場者数(↑)		4,765 人 (平成 27 年度)		10,041 人 (平成 29 年度)		8,200 人
(出所・出典) 盛岡広域商工団体復興応援観光・物産フェア実行委員会						

No,	8	事業名	食料品の輸出の促進に向けた検討【★】			
関係市町名	8市町					
事業概要	清酒や乳製品など圏域の強みをいかした食料品の輸出の促進について研究を行う。					
見込まれる成果	圏域全体で実施することで、生産量の確保と地場産品の振興が見込まれる。事業者及び農業者との調整等については、今後、検討が必要。					
年度別事業費（千円）	28実績	29実績	30見込	31見込	32見込	計
	0	0	0	0	0	0
役割分担,	盛岡市	・本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。				
費用負担	各市町	・本事業の実施に協力して取り組む。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成32年度)
検討会議開催回数 (→)		2回 (平成28年度)		0回 (平成30年12月末)		2回/年
(出所・出典) 盛岡市						

No,	9	事業名	圏域の産品を生かした洋生菓子の生産拡大等に向けた検討【★】			
関係市町名	8市町					
事業概要	圏域の産品を生かした洋生菓子の新商品開発や生産拡大、工場誘致などの可能性について研究を行う。					
見込まれる成果	圏域全体で実施することで、生産量の確保と地場産品の振興が見込まれる。事業者及び農業者との調整等については、今後、検討が必要。					
年度別事業費（千円）	28実績	29実績	30見込	31見込	32見込	計
	0	0	0	0	0	0
役割分担、費用負担	盛岡市	・本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。				
	各市町	・本事業の実施に協力して取り組む。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成32年度)
検討会議開催回数 (→)		2回 (平成28年度)		0回 (平成30年12月末)		2回/年
(出所・出典) 盛岡市						

No,	10	事業名	6次産業化の推進			
関係市町名	8市町					
事業概要	6次産業化及び地産地消等の推進につなげる取組の検討を行う。 ・広域8市町の6次産業化実践者を訪問し現地研修や、農業以外の業種が個々に持っている経営に関する情報などを意見交換や勉強会等により把握する。 ・盛岡地方の関係機関（8市町含む）・団体が連携を密にし、農業、農村の振興に寄与することを目的とし、8市町のほか広域振興局などの関係機関・団体との連携を検討する。					
見込まれる成果	・各市町の食と農の推進だけでなく、8市町連携によるスケールメリットを発揮した圏域の食と農の取組を進めることができる。 ・圏域としての食と農の魅力を購買者に伝えることにより、圏域の農産物や農産加工品の生産流通及び消費拡大による農業の活性化に寄与する。 ・8市町のほか、広域振興局などの関係機関・団体との協力体制を確保することで、更なる6次産業化及び地産地消の取組に関する検討の進展が見込まれる。					
年度別事業費（千円）	28実績	29実績	30見込	31見込	32見込	計
	729	342	309	202	0	1,582
役割分担, 費用負担	盛岡市	・本事業の企画、現地研修、意見交換や勉強会研修の活動を支援するとともに、広域的な調整を行う。				
	各市町	・事業の企画、現地研修、意見交換や勉強会研修の活動に協力して取り組む。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成32年度)
現地研修、勉強会等により意見交換した企業・団体等（個人起業者含む）の延べ件数（↑）		0件 （平成28年度）		4件 （平成30年度）		16件
(出所・出典) 盛岡広域首長懇談会食・農推進部会						

No,	11	事業名	盛岡手づくり村における圏域産品等の情報発信【★】			
関係市町名	8市町					
事業概要	盛岡手づくり村において、圏域産品の販売や観光情報の発信等を行う。					
見込まれる成果	手づくり村における広域の一体的な販売促進や情報発信等により、地場産業の振興及び地域経済の活性化を図ることができる。					
年度別事業費（千円）	28実績	29実績	30見込	31見込	32見込	計
	0	0	2,122	2,122	3,000	7,244
役割分担、費用負担	盛岡市	・本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・本事業の実施に協力して取り組む。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成32年度)
首都圏等における物産展等を活用した情報発信の延べ回数(↑)		0回 (平成28年度)		5回 (平成30年12月末)		9回
(出所・出典) 盛岡市						

No,	12	事業名	盛岡手づくり村振興事業【☆】			
関係市町名	8市町					
事業概要	盛岡手づくり村を良好な状態に維持管理し、来場者の便宜向上を含め、安全な施設運営を図るとともに、（公財）盛岡地域地場産業振興センターの運営を支援することを通じて、盛岡広域圏の地場産業の振興拠点としての機能強化を図る。					
見込まれる成果	盛岡広域の地場産業の拠点であることが再認識され、地域経済の活性化を図ることができる。					
年度別事業費（千円）	28実績	29実績	30見込	31見込	32見込	計
	0	0	0	0	10,079	10,079
役割分担、費用負担	盛岡市	・本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・本事業の実施に協力して取り組む。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成32年度)
新商品開発延べ数（↑）		0件 (平成28年度)		0件 (平成30年12月末)		6件
(出所・出典) 盛岡市						

○今後検討する事業（★：新規事業，☆：拡充事業）

事業名	事業概要
製麺工業と農業の連携の促進についての検討【★】	圏域において麺類の消費量が多いことから，多くを輸入に頼っている小麦原料の域内調達率を向上させる方策等について研究する。
清酒とコメの連携の促進についての検討【★】	圏域での消費量が多く，移輸出にも期待ができる清酒について，多くを移入に頼っているコメの域内調達率を向上させる方策等について研究する。
産業博覧会の開催の検討【★】	圏域の産業の活性化に向け，企業が自社製品及び技術をアピールする機会としての「産業博覧会」の開催について調査・研究を行う。
手づくり村リニューアル事業【★】	（公財）盛岡地域地場産業振興センターの建物・設備及び展示をリニューアルすることで，地場産業の振興拠点としての機能強化を図る。また，盛岡広域で受け継がれている，南部鉄器や漆器，染物，駄菓子などの伝統の技や味を後世に伝えるための「（仮称）伝統技術継承工房」を設置し，盛岡地域の貴重な財産である伝統技術を継承する拠点とする。

エ 戦略的な観光施策

見込まれる成果

- ・各市町の観光資源の発信力が強化される。
- ・訪日外国人等新たな観光客の開拓につながり、交流人口の増加が見込まれる。

成果指標（KPI）	成果指標設定時値	現状値	目標値 （平成 32 年）
圏域内観光客入込数（↑）	999 万人回 （平成 26 年）	950 万人回 （平成 29 年）	1,049 万人回
（出所・出典）県政策地域部「統計年鑑」			

○実施を計画する事業（★：新規事業，☆：拡充事業）

No,	13	事業名	広域観光推進事業			
関係市町名	8 市町					
事業概要	<u>誘客促進とエリアの観光振興に向け、盛岡・八幡平広域観光推進協議会など広域観光団体の取組と連動した観光 PR の実施、自然景観、伝統芸能、食、温泉など圏域の魅力の情報発信、効果的な観光案内に向けた調査研究などを行うほか、県や振興局等が実施する広域観光キャンペーンに参加するなど、各市町が連携して広域観光の推進を図る。</u>					
見込まれる成果	<u>圏域内の観光客入込数の増加につながる。</u>					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	7,888	7,888	7,888	7,888	7,888	39,440
役割分担、費用負担	盛岡市	・ <u>盛岡広域を含む市町で構成する広域観光団体や関係機関等の取組に参画し、広域観光の推進を図る。</u> ・事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・ <u>盛岡広域を含む市町で構成する広域観光団体や関係機関等の取組に参画し、広域観光の推進を図る。</u> ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（平成 32 年）
<u>圏域内観光客入込（↑）</u>		<u>999 万人回（平成 26 年）</u>		<u>950 万人回（平成 29 年）</u>		1,049 万人回
（出所・出典）8 市町						

No,	14	事業名	国際観光客誘致促進事業			
関係市町名	8 市町					
事業概要	県や関係市町などとの連携により、訪日スキー旅行の人気が高い豪州からのスキー客誘致とともに、台湾からの誘致促進を図るため、台湾・台中国際旅行展覧会に参加して誘客キャンペーン事業を実施するほか、新たな市場開拓に向け、タイ現地における海外プロモーション活動の強化を図る。また、海外からの観光客誘致に向けた取組を進めるとともに、観光案内表示や観光ホームページ等の多言語化、Wi-Fi 通信環境整備の改善、浴衣や温泉、日本文化や和食などのメニューづくり、食事・買い物、各種体験などの仕組みづくり等、外国人観光客受入環境の整備を推進する。					
見込まれる成果	圏域内の外国人観光客入込数の増加につながる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	58,382	81,575	45,962	46,456	43,572	275,947
役割分担、費用負担	盛岡市	・盛岡広域圏内自治体や観光団体等と連携しながら、国際旅行展への出展など、海外プロモーション活動や外国人観光客受入環境の整備を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・盛岡広域圏内自治体や観光団体等と連携しながら、国際旅行展への出展など、海外プロモーション活動や外国人観光客受入環境の整備を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（平成 32 年）
圏域内外国人観光客入込数（↑）		44,342 人回 （平成 26 年）		116,728 人回 （平成 29 年）		130,000 人回
（出所・出典）県政策地域部「統計年鑑」						

No,	16	事業名	M I C E の誘致推進【★】			
関係市町名	8 市町					
事業概要	M I C E 開催支援制度を創設し、誘致活動を推進する。					
見込まれる成果	M I C E 誘致を推進するとともに、エクスカーションを圏域で行うことによる波及効果で、圏域内の交流人口の増加と観光振興につながる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	16, 946	23, 500	10, 500	24, 000	24, 000	98, 946
役割分担, 費用負担	盛岡市	・ M I C E 開催助成を通じ、M I C E 誘致の推進と広域観光の P R を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・ エクスカーションの提供と M I C E 誘致に係る P R 活動の連携を図る。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成 32 年度)
M I C E 開催助成件数 (↑)		14 件 (平成 27 年度)		26 件 (平成 29 年度)		20 件/年
(出所・出典) (公財) 盛岡観光コンベンション協会						

No,	17	事業名	盛岡広域フィルムコミッション事業			
関係市町名	8 市町					
事業概要	圏域市町の連携により，ロケーションの誘致やロケーションに関する情報収集と情報・相談・斡旋等の支援を行う。					
見込まれる成果	圏域が有している魅力を，映画やテレビ等の映像を通じて広く紹介することにより，地域の知名度やイメージが向上し，観光客の増加や交流による地域活性化が見込まれる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	1, 188	1, 188	1, 188	1, 188	1, 188	5, 940
役割分担, 費用負担	盛岡市	・ 盛岡広域圏内自治体及び観光関係団体等と連携しながら，ロケ誘致などフィルムコミッション事業の支援を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・ 盛岡広域圏内自治体及び観光関係団体等と連携しながら，ロケ誘致などフィルムコミッション事業の支援を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成 32 年度)
圏域内ロケ支援件数 (↑)		63 件 (平成 27 年度)		62 件 (平成 29 年度)		100 件/年
(出所・出典) 盛岡広域フィルムコミッション						

No.	18	事業名	いわて・盛岡広域観光センター運営支援事業			
関係市町名	8 市町					
事業概要	県内・圏域の観光拠点である盛岡市・中心市街地のまちなか観光を推進し、圏域エリア内への周遊を促すため、広域の観光資源の情報発信や誘客宣伝活動などを行う。					
見込まれる成果	圏域で連携することにより、観光資源の情報発信や誘客宣伝が効果的に行われ、圏域内の観光客入込数の増加につながる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	6,802	6,860	6,860	6,860	6,860	34,242
役割分担, 費用負担	盛岡市	・盛岡広域圏内自治体及び観光関係団体等と連携しながら、盛岡広域の観光案内や情報発信を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・盛岡広域圏内自治体及び観光関係団体等と連携しながら、盛岡広域の観光案内や情報発信を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成 32 年度)
いわて・盛岡広域観光センター来訪者数 (↑)		27,142 人 (平成 27 年度)		41,026 人 (平成 29 年度)		40,000 人/年
(出所・出典) (公財) いわて・盛岡広域観光センター						

No.	19	事業名	教育旅行誘致事業			
関係市町名	8 市町					
事業概要	北陸新幹線・北海道新幹線開業を踏まえ、幅広い地域からの岩手・盛岡への来訪に対応するため、修学旅行ガイドブックの作成や関係団体などとの連携による教育旅行の誘致活動の強化と受入態勢の充実を図る。					
見込まれる成果	県内外からの修学旅行入込数が増加するほか、修学旅行で訪れた生徒・児童が将来的にリピーターへとつながる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	1, 836	3, 213	6, 103	7, 181	6, 538	24, 871
役割分担、費用負担	盛岡市	・（公財）岩手県観光協会教育旅行誘致宣伝部会の教育旅行誘致活動など、関係自治体及び観光関係団体等と連携しながら、教育旅行誘致の推進を図る。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・（公財）岩手県観光協会教育旅行誘致宣伝部会の教育旅行誘致活動など、関係自治体及び観光関係団体等と連携しながら、教育旅行誘致の推進を図る。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成 32 年度)
教育旅行入込客数(学校数)（→）		1, 639 校 (平成 27 年度)		1, 624 校 (平成 29 年度)		1, 600 校/年
(出所・出典) 8 市町						

No,	20	事業名	スポーツツーリズム推進事業【☆】			
関係市町名	8市町					
事業概要	広域連携組織の盛岡広域スポーツコミッションにおいて、2020 東京オリンピック・パラリンピックに向け盛岡広域から地元オリンピックの輩出を目指すオリンピック選手育成事業，通称「エイト・オリンピックズ・プロジェクト」のほか，国内スポーツ合宿等の誘致による交流人口の拡大，プロスポーツとの連携による地域活性化の促進等に取り組む。					
見込まれる成果	事業の推進により，地域スポーツの推進と地域経済の活性化を図る。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	959	7,103	6,865	11,905	11,905	38,737
役割分担，費用負担	盛岡市	・広域連携によるスポーツ推進体制の在り方の調査・研究に取り組むとともに，広域的な調整を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・調査・研究に参加するとともに，広域連携によるスポーツ推進に関して各市町の関係者・関係団体に対して働きかけを行うなど，事業実施に協力して取り組む。 ・各市町の地域スポーツ競技の広域的普及のための事業を実施する。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成 32 年度)
国内大会・合宿や事前キャンプの受入件数（↑）		40 件 （平成 27 年度）		103 件 （平成 29 年度）		127 件/年
（出所・出典） 8市町						

○今後検討する事業（★：新規事業，☆：拡充事業）

事業名	事業概要
ニューツーリズムの振興【★】	スポーツ，環境，健康，産業など特定のテーマと観光を組み合わせたニューツーリズムについて，モデルコース紹介や誘致活動を行う。
エコツーリズムの振興に向けた検討【★】	再生可能エネルギー施設の視察・見学などのエコツーリズムの振興について調査・研究を行う。
2次交通体系の整備【★】	公共交通拠点を起点とした圏域市町を結ぶ2次交通の整備に向けた取組やサービス向上の仕組みづくりを行う。
日帰り客の創出（滞在時間の延長）に向けた検討【★】	圏域内の住民の行楽等による近隣地域への訪問の促進方策等について調査・研究を行う。

(2) 戦略2 人の流れをつなぐ（高次の都市機能の集積・強化）

ア 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

見込まれる成果

・圏域内外の公共交通拠点の整備を進め、バス路線の維持・確保を図ることにより、住民生活における移動の利便性の向上、圏域外との交流人口の増加が見込まれる。

成果指標（KPI）	成果指標設定時値	現状値	目標値 （平成32年度）
広域バス路線数（→）	93 路線 （平成26年9月）	88 路線 （平成30年9月）	93 路線
（出所・出典）盛岡市			

○実施を計画する事業（★：新規事業，☆：拡充事業）

No,	21	事業名	(仮称) 新盛岡バスセンター整備事業【★】			
関係市町名	8 市町					
事業概要	圏域内外のバス交通アクセス拠点である（仮称）新盛岡バスセンター整備事業の公民連携事業による事業化に向けた検討等を行う。					
見込まれる成果	広域バス交通の拠点である盛岡バスセンターが再整備されることにより、圏域内の交通サービスの維持・強化が図られる。また、バスセンター内に設けるサービス施設の整備により、圏域内の観光・物産の情報発信機能などの充実が図られる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	0	4,773	22,700	22,614	0	50,087
役割分担, 費用負担	盛岡市	・バスセンター再整備の公民連携事業による事業化に向けて、民間事業者と協議を進めるとともに、施設整備の検討を行う。 ・サービス施設の整備については、事業の全体計画の中で協議を行い、整備主体、費用負担等を決定する。				
	各市町	・サービス施設の整備を検討する際に、必要に応じ協議に参画する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成 32 年度)
盛岡バスセンターからのバス発着便数 (→)		2,153 便 (平成 30 年 12 月末)		2,153 便 (平成 30 年 12 月末)		2,153 便
(出所・出典) 盛岡バスセンター発着バス時刻表						

○今後検討する事業（★：新規事業，☆：拡充事業）

事業名	事業概要
（仮称）複合交通センター基本計画策定事業【★】	盛岡駅西口地区の（仮称）複合交通センター用地を圏域内外の交通アクセス拠点として整備するために、必要な施設・規模等についての調査・研究を踏まえ、構想を策定する。

(3) 戦略3 暮らしの安心をつなぐ（圏域全体の生活関連機能サービスの向上）

ア 生活機能の強化に係る政策分野

(7) 地域医療

見込まれる成果

・圏域全体の救急医療サービスの供給体制が整備されることにより、各市町における住民生活の安心の向上につながる。

成果指標（KPI）	成果指標設定時値	現状値	目標値 （平成32年度）
小児救急輪番日患者数 （→）	5,666人 （平成27年度）	<u>5,735人</u> （平成29年度）	5,800人/年
二次救急輪番日患者数（→）	16,523人 （平成27年度）	<u>16,255人</u> （平成29年度）	17,000人/年
（出所・出典）盛岡地区二次救急医療対策委員会			

○実施を計画する事業（★：新規事業，☆：拡充事業）

No.	22	事業名	盛岡保健医療圏域における救急医療体制に関する検討			
関係市町名	8 市町					
事業概要	岩手医科大学附属病院移転後の救急医療体制の確保等について，広域市町や医大等の関係機関と検討する。					
見込まれる成果	医大附属病院の移転により，これらの患者が他の救急医療機関へ集中し重症患者の診療に支障をきたさないようにするため，盛岡保健医療圏域全体の救急医療体制を整備する。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	0	0	0	0	0	0
役割分担，費用負担	盛岡市	・ 医大附属病院移転後の二次救急医療の課題検討や盛岡保健医療圏としての情報共有や統一した意見の集約において広域的な調整を行う。				
	各市町	・ 医大附属病院移転後の二次救急医療の課題検討に協力して取り組む。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値(平成 32 年度)	
盛岡広域首長懇談会の救急医療部会の開催回数 (→)		1 回 (平成 28 年度)		<u>1 回</u> (平成 30 年度)	1 回/年 (平成 31 年度)	
(出所・出典) 盛岡広域首長懇談会救急医療部会						

No,	23	事業名	小児救急輪番制病院事業			
関係市町名	8 市町					
事業概要	休日・夜間等に入院加療を必要とする小児重症救急患者を輪番制で診療する病院に対し、運営費を補助する。また、公的病院等に対して特別交付税措置制度を活用し、運営費補助を実施する。					
見込まれる成果	休日・夜間において、圏域の小児重症患者に救急医療を提供する。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	27,740	27,914	27,914	<u>20,122</u>	<u>20,122</u>	<u>123,812</u>
役割分担, 費用負担	盛岡市	・小児救急医療事業に関する運営費の補助等を実施するとともに、盛岡保健医療圏 8 市町の事務局的役割を担う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・小児救急医療事業に係る運営費の補助等を実施する。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成 32 年度)
小児救急輪番日患者数 (→)		5,666 人 (平成 27 年度)		<u>5,735 人</u> (平成 29 年度)		5,800 人/年
(出所・出典) 盛岡地区二次救急医療対策委員会						

No,	24	事業名	第二次救急医療対策事業			
関係市町名	8 市町					
事業概要	盛岡地区二次救急医療事業に要する経費の一部を広域各市町で負担し、盛岡市が取りまとめ補助金として交付する。					
見込まれる成果	休日・夜間の二次救急輪番制病院群を支援し、圏域の二次救急医療体制を確保する。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	60,630	38,397	59,939	44,228	59,939	263,133
役割分担, 費用負担	盛岡市	・二次救急医療事業に係る運営費の補助等を実施するとともに、盛岡保健医療圏 8 市町の事務局的役割を担う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・二次救急医療事業に係る運営費の補助等を実施する。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成 32 年度)
二次救急輪番日患者数 (→)		16,523 人 (平成 27 年度)		16,255 人 (平成 29 年度)		17,000 人/年
(出所・出典) 盛岡地区二次救急医療対策委員会						

(イ) 介護

見込まれる成果

・圏域全体の介護サービスの供給体制が強化されることにより、各市町における住民生活の安心の向上につながる。

成果指標（KPI）	成果指標設定時値	現状値	目標値 （平成 32 年度）
介護保険サービスの利用率 （→）	91.6% （平成 28 年 9 月末）	<u>84.8%</u> （平成 30 年 10 月）	91.6%
（出所・出典） 8 市町			

○実施を計画する事業（★：新規事業，☆：拡充事業）

No,	25	事業名	医療と介護の連携事業【★】			
関係市町名	8 市町					
事業概要	市町の境界を越えた他職種協働により，在宅医療も含めた高齢者医療と介護を一体的に提供できる体制を構築する。					
見込まれる成果	医療と介護の連携を進めるためには多種多様な研修が必要であることから，広域 8 市町の共同研修を開催することで，さらなる体制整備の促進につながる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	600	572	600	600	600	2,972
役割分担，費用負担	盛岡市	・フォーラムや研修会を企画，実施する。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・フォーラムや研修会に関する広報，参加者募集等に協力する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値(平成 32 年度)	
広域 8 市町で参加できる公開講座等の開催件数 (→)		8 回 (平成 28 年 10 月末)		33 回 (平成 30 年 3 月末)	8 回/年	
(出所・出典) (一社) 盛岡市医師会						

No,	26	事業名	盛岡広域シルバーケアＳＯＳネットワークシステム				
関係市町名	８市町						
事業概要	警察署等の関係機関との連携を強化し、徘徊高齢者の住所不明事案の手配及び発見・保護、システムの周知と早期発見の指導を行う。また、住所不明事案発生時の情報共有を行う。						
見込まれる成果	ＳＯＳネットワークシステム登録件数及び履物用ステッカーの交付件数が増加し、徘徊高齢者の速やかな発見につなげることができる。						
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計	
	800	513	0	654	654	2,621	
役割分担、費用負担	盛岡市	・履物用ステッカーの購入数の取りまとめを行う。 ・履物用ステッカーに関する周知、広報、配布を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。					
	各市町	・履物用ステッカーに関する周知、広報、配布を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。					
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値(平成 32 年度)		
盛岡広域シルバーケア SOS ネットワークシステム登録延べ件数（↑）		290 件 (平成 28 年 10 月)	464 件 (平成 30 年 3 月)		600 件		
(出所・出典) 各警察署							

(ウ) 福祉

見込まれる成果

・圏域全体として保育、障がい者支援、配偶者暴力防止に関するサービスを供給する体制が強化されることにより、各市町における住民生活の安心の向上につながる。

成果指標（KPI）	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)
盛岡市から各広域市町の保育所等へ、各広域市町から盛岡市の保育所等へ入所を希望した児童の内、入所に至った児童の割合（→）	55.0% (平成 29 年 3 月末)	73.7% (平成 30 年 11 月末)	77.4%
圏域における障がい者の相談件数（→）	8,266 件 (平成 27 年度)	5,371 件 (平成 29 年度)	8,300 件/年
(出所・出典) 8 市町			

○実施を計画する事業（★：新規事業，☆：拡充事業）

No,	27	事業名	保育所の広域入所				
関係市町名	8 市町						
事業概要	保護者の居住地外での就労や里帰り出産、転出入等の特別な事情により、盛岡広域他市町の保育所等（保育所、認定こども園及び地域型保育事業に係る施設）での保育を必要としている児童の入所を調整・実施する。						
見込まれる成果	保護者の就労環境等の事情に応じて広域入所を希望する児童を適切に保育できる。また、転出入があった場合も、切れ目のない保育の実施が可能となる。						
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計	
	315, 317	325, 815	317, 059	333, 009	337, 450	1, 628, 650	
役割分担, 費用負担	盛岡市	・連携市町からの新規・継続入所を受け付ける。 ・事業実施に要する費用を負担する。					
	各市町	・盛岡市からの新規・継続入所を受け付ける。 ・事業実施に要する費用を負担する。					
成果指標		成果指標設定時 値		現状値		目標値(平成 32 年度)	
<u>盛岡市から各広域市町の保育所等へ, 各広域市町から盛岡市の保育所等へ入所を希望した児童の内, 入所に至った児童の割合</u> (→)		<u>55.0%</u> (平成 29 年 3 月末)		<u>73.7%</u> (平成 30 年 11 月末)		<u>77.4%</u>	
(出所・出典) 8 市町							

No,	28	事業名	配偶者暴力相談支援センター広域連携事業【★】				
関係市町名	8 市町						
事業概要	配偶者からの暴力防止対策等に向けた連携として、盛岡市配偶者暴力相談支援センターの業務の対象を広域圏へ広げる。現在の相談員 1 人に、週 3 日（15 時間）の相談員を加え、DV 防止に向けた啓発，相談（必要に応じた出張相談），対応事案に対する相談（スーパーバイザー）等を実施し，広域市町が相互に連携を図りながら協力し取り組む。						
見込まれる成果	対象を圏域全体に拡大することで，住民の安全を確保するとともに，市町職員の DV 等被害者対応能力の向上を図ることができる。						
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計	
	0	0	0	4,284	4,284	8,568	
役割分担，費用負担	盛岡市	・ 配偶者暴力相談支援センターの運営や相談員の確保等，圏域における配偶者等からの暴力防止対策事業に取り組むとともに，広域的な調整を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。（平成 31 年度は盛岡市のみ費用を負担する。）					
	各市町	・ 出張DV相談の実施や緊急避難時の移送等の協力等，事業実施に協力して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。（平成 31 年度は負担なし。平成 32 年度以降の事業拡充や費用負担について検討していく。）					
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成 32 年度)	
DV 相談支援センターの相談件数（→）		1,080 件 (平成 29 年 3 月末)		621 件 (平成 30 年 11 月末)		850 件	
デートDV 予防啓発講座受講者数（→）		185 人 (平成 29 年 3 月末)		864 人 (平成 30 年 11 月末)		900 人	
(出所・出典) 盛岡市							

No,	29	事業名	障がい者相談支援事業			
関係市町名	8 市町					
事業概要	在宅福祉等を担当する相談支援専門員を配置し、在宅の障がい児（者）及び保護者等に対し、家庭訪問等により相談等に応じて助言等を行う。					
見込まれる成果	障がい者の日常生活における利便性・快適性の向上とともに、心理的・精神的負担が軽減されることで、生活の安定が図られ、自立した生活を送れるようになる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	68, 418	44, 546	44, 146	<u>44, 246</u>	<u>44, 246</u>	<u>245, 602</u>
役割分担, 費用負担	盛岡市	・ 本事業を実施するとともに、事業内容に関する協議を開催する等、広域的な調整を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・ 本事業に関する協議に参加する等、事業実施に協力して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値(平成 32 年度)	
圏域における障がい者の相談件数（→）		8, 266 件 (平成 27 年度)		<u>5, 371 件</u> (平成 29 年度)	8, 300 件/年	
(出所・出典) 8 市町						

No,	71	事業名	医療的ケア児支援連携事業【★】			
関係市町名	8 市町					
事業概要	盛岡広域圏において、医療的ケア児が身近な地域で必要な支援が受けられるように、保健，医療，障害福祉，保育，教育等の関係機関等が連携を図るための協議の場を設けるもの。					
見込まれる成果	医療的ケア児が，身近な地域で必要な支援が受けられ，地域で安心して暮らすことができる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	0	0	0	228	228	456
役割分担，費用負担	盛岡市	・協議会の運営や，圏域における医療的ケア児の支援に取り組むとともに，広域的な調整を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・圏域における医療的ケア児の支援に取り組む。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値(平成 32 年度)	
サービス等利用計画を相談支援事業所が作成している割合（児童福祉法分） （↑）				37. 57% （平成 30 年 9 月）	42%	
（出所・出典）盛岡市						

(Ⅰ) 教育・文化・スポーツ

見込まれる成果

・圏域全体として教育・文化・スポーツに触れる機会がより確保され、各市町における住民生活の充実につながる。

成果指標（KPI）	成果指標設定時値	現状値	目標値 （平成 32 年度）
圏域内の社会教育・スポーツ施設利用者数（↑）	5,161,154 人 （連携中枢都市宣言時点で把握した値の合計）	—	5,419,000 人
（出所・出典）盛岡市「連携中枢都市宣言書」			

○実施を計画する事業（★：新規事業，☆：拡充事業）

No,	30	事業名	国体開催に係る取組状況と連携			
関係市町名	8 市町					
事業概要	広報や観光・接伴，宿泊，輸送・交通に関する市町連携の可能性について検討し，その結果を踏まえ適宜，実施する。					
見込まれる成果	46 年ぶりに岩手県で開催される第 71 回国民体育大会に向けて，取組等の情報収集や意見交換等を行うことにより，現在抱えている課題や情報を共有できる。また，広域で連携できる項目について連携を進め，財政的・人的・事務的に負担を軽減することにより，市町間の効果的・効率的な運営が期待できる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	0	－	－	－	－	0
役割分担，	盛岡市	・ 会議の日程及び資料等調整し，開催する。				
費用負担	各市町	・ 各市町の情報・資料等を提供する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値
検討した連携項目のうち，連携可能と判断し，実際に実施できた割合		—		100% (平成 28 年度)		100% (平成 28 年度)
(出所・出典) 盛岡市						

No,	31	事業名	全日本ジュニアスキー選手権大会アルペン競技・種目スーパー大回転兼「世界アルペン開催記念」全日本選抜ジュニアスキー選手権大会の共同開催			
関係市町名	盛岡市，滝沢市，雫石町					
事業概要	1993 世界アルペンスキー選手権大会の開催を記念して，FIS・SAJ 公認のスピード系のスキー大会を毎年，共同開催する。					
見込まれる成果	大会開催により地元出場枠が与えられるため，地元のスキー選手育成が図られ，競技力アップに大きく貢献する。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	2,900	2,900	4,400	5,400	5,400	21,000
役割分担，費用負担	盛岡市	・ 本大会の開催に協力して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・ 大会開催に向けた事業に取り組むとともに，広域的な調整を行う（雫石町）。 ・ 本大会の開催に協力して取り組む（滝沢市）。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値(平成 32 年度)	
大会参加者数（→）		312 人 (平成 27 年度)	249 人 (平成 29 年度)		312 人	
(出所・出典) 大会実行委員会事務局						

No,	32	事業名	スポーツ施設広域利用促進に向けた検討			
関係市町名	8 市町					
事業概要	圏域内のスポーツ施設に係る，各市町の住民の相互利用促進について調査・研究を行う。					
見込まれる成果	圏域住民のスポーツ活動機会の充実が図られる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	0	0	0	0	0	0
役割分担，費用負担	盛岡市	・広域連携によるスポーツ施設の相互利用の促進に向けた調査・研究に取り組むとともに，広域的な調整を行う。				
	各市町	・調査・研究に参加する等，事業実施に協力して取り組む。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成 32 年度)
検討会議開催回数（→）		0 回 (平成 28 年 12 月末)		0 回 (平成 30 年 11 月末)		1 回/年
(出所・出典) 盛岡市						

No,	33	事業名	日本遺産認定推進事業【★】			
関係市町名	盛岡市、矢巾町					
事業概要	志波城跡や徳丹城跡をはじめとした北東北の古代史を語るうえで欠かせない歴史遺産である古代城柵について、文化庁の日本遺産認定を目指す。					
見込まれる成果	認定推進運動を通して、盛岡市・矢巾町のみならず東北古代史のひのき舞台である古代城柵としての圏域住民の理解が深まることにより、歴史観光活用が図られる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	0	0	6,400	6,400	6,400	19,200
役割分担、費用負担	盛岡市	・事業の企画総括や事業実施に係る関係市町、関係団体間の調整及び取りまとめを行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・事業実施に係る各市町域内の企画、関係団体間の調整及び取りまとめを行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標	現状値		目標値（平成 32 年度）		出所・出典	
各史跡への来園者数 —(↑)—	志波城—20,014 人— —(平成 27 年度)— 徳丹城—8,661 人— —(平成 27 年度)—		志波城 21,015 人/年 徳丹城 9,094 人/年		盛岡市、矢巾町	

No.	34	事業名	特別天然記念物ニホンカモシカ滅失処理事業【★】			
関係市町名	盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、岩手町、紫波町、矢巾町					
事業概要	ニホンカモシカの滅失処理業務を圏域で一元化する。					
見込まれる成果	処理を一元化することで、事務効率が向上するなど構成市町の負担軽減につながる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	105	135	135	660	660	1,695
役割分担、費用負担	盛岡市	・事業実施に係る連携市町との連絡調整及び情報の集約、取りまとめを行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・事業に係る取組状況等の資料・情報提供を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標	現状値		目標値(平成 32 年度)		出所・出典	
ニホンカモシカ滅失 個体業務委託対応数 —(↑)—	6 件 —(平成 27 年度)—		44 件/年		盛岡市、八幡平市、 滝沢市、雫石町、 岩手町、紫波町、 矢巾町	

(才) 地域振興

見込まれる成果

・雇用の確保を中心とした既存産業の振興により地域が活性化し、若者の定着につながる。

成果指標 (KPI)	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)
圏域内における 29 歳以下の就業者数 (↑)	37,760 人 (平成 22 年度)	<u>34,290 人</u> (平成 27 年度)	34,300 人
(出所・出典) 総務省「国勢調査」			

○実施を計画する事業 (★：新規事業，☆：拡充事業)

No,	35	事業名	もりおか就職面談会等			
関係市町名	8 市町					
事業概要	圏域における若年者の地元就職を促進するため、ハローワーク及び盛岡地域雇用開発協会等と連携し、就職面談会の開催や盛岡地域企業ガイドブックの作成など各種事業を実施する。					
見込まれる成果	就職面談会への参加企業を広域圏内の企業に広げ、また各市町が連携して周知広報を行うことにより、就職面談会への参加者の増加が見込まれ、求職者と企業のマッチングが期待できる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	2, 217	2, 205	2, 201	2, 201	2, 201	11, 025
役割分担, 費用負担	盛岡市	・ 本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。 ・ 事業実施に要する費用（面談会場使用料・盛岡地域雇用開発協会負担金）を負担する。				
	各市町	・ 本事業の実施に協力して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用（盛岡地域雇用開発協会負担金）を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値(平成 32 年度)	
面談会への参加者数（↑）		146 人 (平成) 27 年度	<u>305 人</u> (平成 29 年度)		<u>310 人/年</u>	
(出所・出典) 盛岡市						

No,	36	事業名	若者の就業支援事業【☆】			
関係市町名	8市町					
事業概要	「ジョブカフェいわて」や「もりおか若者サポートステーション」との連携や、高校生スキルアップ支援事業や新社会人就職定着支援事業、高校生等地元定着支援事業等の実施により、若者の地元企業等への定着支援を行う。					
見込まれる成果	「ジョブカフェいわて」や「もりおか若者サポートステーション」といった若者の就業を支援する機関の利用者が増加し、地元企業への就職・定着が図られる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	13,703	13,713	19,065	15,940	15,940	78,361
役割分担, 費用負担	盛岡市	・本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・本事業の実施に協力して取り組む。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成32年度)
ジョブカフェいわての利用者数（→）		32,310人 (平成27年度)		42,851人 (平成29年度)		31,000人/年
もりおか若者サポートステーションの支援を受けて就職を決定した人数（↑）		116人 (平成27年度)		69人 (平成29年度)		140人/年
(出所・出典) ジョブカフェいわて、もりおか若者サポートステーション						

(カ) 災害対策

見込まれる成果

・圏域全体として災害への対応が強化されることにより、各市町における住民生活の安心の向上につながる。

成果指標 (KPI)	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)
災害用非常食糧の備蓄数 (↑)	38,240 食 (平成 29 年 3 月末)	<u>47,910 食</u> (平成 30 年 3 月 末)	87,000 食
南岩手山岳遭難隊員の訓練 受講者数 (→)	50 人 (平成 27 年度)	<u>54 人</u> (平成 29 年度)	50 人/年
(出所・出典) 8 市町, 南岩手山岳遭難対策委員会事務局			

○実施を計画する事業 (★：新規事業, ☆：拡充事業)

No,	37	事業名	自然災害等対策推進事業【★】			
関係市町名	8 市町					
事業概要	広域災害等の発生を想定し，圏域市町で連携した減災・防災体制の連携強化を図る。					
見込まれる成果	広域災害発生時等における圏域市町の連携・協力体制を構築することにより，住民の安全・安心の確保と地域防災力の強化を図ることができる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	<u>6,548</u>	<u>13,773</u>	<u>21,564</u>	<u>33,883</u>	<u>25,419</u>	<u>101,187</u>
役割分担，費用負担	盛岡市	・ 本事業の実施に係る調整及び取りまとめを行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・ 各市町における取組状況の報告等，本事業の実施に協力して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成 32 年度)
災害用非常食糧の備蓄数（↑）		38,240 食 (平成 29 年 3 月末)		<u>47,910 食</u> <u>(平成 30 年 3 月 末)</u>		87,000 食
(出所・出典) 8 市町						

No,	38	事業名	震災対応事業			
関係市町名	8 市町					
事業概要	- 被災 3 県児童チャレンジキャンプ（H28 終了事業） 東日本大震災により被災した 3 県（岩手，宮城，福島）の児童を盛岡エリアに招待し，スポーツ，野外炊事等の体験活動を行う。 - 東日本大震災周年行事 東日本大震災の発災日である 3 月 11 日に，地域住民とともに犠牲となった方々の冥福を祈り，復興への誓いを新たにするための行事を開催する。					
見込まれる成果	- 被災 3 県児童チャレンジキャンプ 野外での体験等を通じて，子ども達のリフレッシュが図られるとともに，子ども達の地域間交流が促進され，人材育成に寄与することが期待される。 - 東日本大震災周年行事 追悼式典や地域住民が自由に参加できる灯籠イベントを開催することにより，震災の記憶の風化防止に寄与することが期待される。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	5,530	1,468	1,495	1,495	1,495	11,483
役割分担，費用負担	盛岡市	- 事業の企画総括や事業実施に係る調整及び取りまとめ，関係機関・団体との各種調整を行う。 - 事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	- チャレンジキャンプへの各市町からの参加者等の取りまとめや，周年行事用の灯籠作成に係る地域内の小学校等への依頼等を行う。 - 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値(平成 32 年度)	
周年行事の参加者数（↑）		2,650 人 (平成 28 年 3 月)	2,600 人 (平成 30 年 3 月)		4,600 人	
(出所・出典) 盛岡広域首長懇談会						

No,	39	事業名	南岩手山岳遭難対策事業			
関係市町名	盛岡市，滝沢市，雫石町					
事業概要	岩手山を中心とする山岳における遭難事故の防止，遭難者の捜索及び救助を目的とし，遭難事故等を想定した合同訓練を実施する。					
見込まれる成果	岩手山を中心とする山岳での遭難事故発生時等における遭難救助を迅速，効果的に実施することができる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	600	600	600	600	600	3,000
役割分担，費用負担	盛岡市	・ 本会の事業・活動に連携して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・ 本会の事業・活動に連携して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成32年度)
南岩手山岳遭難隊員の訓練受講者数（→）		50 人 (平成 27 年度)		54 人 (平成 29 年度)		50 人/年
(出所・出典) 南岩手山岳遭難対策委員会事務局						

○今後検討する事業（★：新規事業，☆：拡充事業）

事業名	事業概要
もりおか復興支援センター運営事業【★】	東日本大震災により被災し内陸に避難されている方々の生活再建を支援する拠点施設である「もりおか復興支援センター」の運営。

(キ) 環境

見込まれる成果

・圏域全体としてごみ処理体制が整備されることにより、循環型社会の形成につながる。

成果指標 (KPI)	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)
広域 8 市町のリサイクル率 の平均値 (↑)	18.2% (平成 26 年度)	<u>17.7%</u> (平成 28 年度)	20.35%
(出所・出典) 8 市町			

○実施を計画する事業 (★：新規事業，☆：拡充事業)

No,	40	事業名	県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想支援事業【★】			
関係市町名	8 市町					
事業概要	平成 27 年 1 月に策定した県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想に基づき、ブロック内における循環型社会形成の推進を目指すため、既存 6 つのごみ焼却施設を 1 施設に集約し、平成 41 年度からの稼働を目指すこととしているが、今後予定している新施設の建設候補地選定業務や、新組織設立に向けた各種計画策定事務等の適確な進捗管理及び住民説明等の支援事務を行う。					
見込まれる成果	平成 41 年度からの新ごみ焼却施設稼働を目指すためには、候補地選定、各種計画策定、環境影響評価などを踏まえ、新施設の建設のスケジュールとなるが、基本構想に基づき計画的にこれらの事務を進めることで、平成 40 年度まで使用することを予定している既存焼却施設の維持管理経費など、必要最低限度に抑えることが見込まれ、圏域各市町の財政面におけるメリットが期待できる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	2,916	2,862	-	-	-	5,778
役割分担, 費用負担	盛岡市	・候補地選定や各種計画策定、新組織の設立に向けた検討など、協議会事務局として取り組む。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・会議に参加するとともに、事業の実施に連携して取り組む。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値
県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会関係会議開催回数（↑）		18 回 (平成 28 年 12 月末)		28 回 (平成 29 年度末)		28 回 (平成 29 年度末)
(出所・出典) 県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会事務局						

No.	72	事業名	(仮称)盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会事業【★】			
関係市町名	8市町					
事業概要	広域8市町内の有害鳥獣被害は年々増加しており、新規狩猟者の確保が喫緊の課題であるが、広域8市町の狩猟者が利用する矢巾総合射撃場が老朽化していること及び広域8市町の有害鳥獣駆除隊員の確保や技術の向上を図っていくため、広域8市町及び6猟友会等で、(仮称)盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会を構成し、更新整備を行うこととし、施設更新に係る事業費の一部を負担するもの。 【矢巾総合射撃場更新整備の概要】 ・盛岡広域8市町の有害鳥獣駆除隊員の技術の向上、銃所持許可の新規・更新申請をする際の射撃講習等に利用されている。 ・整備は、クレー放出機関連整備のほか、研修施設関連整備を含め総合的に行うもの。					
見込まれる成果	狩猟者の技術が向上することにより、有害鳥獣捕獲の担い手の確保が図られる。					
年度別事業費（千円）	28実績	29実績	30見込	31見込	32見込	計
	-	-	-	35,294	-	35,294
役割分担、費用負担	盛岡市	・事業計画の策定や国庫補助事業の申請事務など、猟友会や盛岡広域振興局等関係機関と連携しながら、射撃場整備の推進を図る。				
	各市町	・事業計画の策定や国庫補助事業の申請事務など、猟友会や盛岡広域振興局等関係機関と連携しながら、射撃場整備の推進を図る。 ・(仮称)盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会の事務局を担当する。(矢巾町)				
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値(平成32年度)	
施設整備率（↑）		—	0% (平成30年12月末)		100%	
(出所・出典) 矢巾町						

No.	73	事業名	【★】岩手県央へい獣処理協議会事業				
関係市町名	盛岡市，滝沢市，雫石町，紫波町，矢巾町						
事業概要	岩手県央へい獣処理協議会では，老朽化している保冷施設の整備を平成 31 年度に計画しており，事業費について，協議会の構成団体で負担するもの。 現施設は，5 市町の管内の死亡家畜（牛・馬）を適正に処理するための一時保管施設であり，平成 29 年度は 830 頭の利用があるもの。 新施設は，現施設の施設内（雫石町有地）に建設する予定であり，整備後は，引き続き，協議会（事務局：新岩手農協）において，運営・管理を行うものである。 【協議会構成団体】 盛岡市，滝沢市，雫石町，紫波町，矢巾町，新岩手農業協同組合，岩手中央酪農業協同組合，岩手花平農業協同組合 岩手中央農業協同組合，小岩井農牧株式会社						
見込まれる成果	環境保全及び家畜防疫のため，5 市町管内の死亡家畜を適正処理することにより，管内の畜産農家の健全経営に寄与する。						
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計	
	-	-	-	調整中	調整中	調整中	
役割分担，費用負担	盛岡市	・事業計画の策定など，農協や盛岡広域振興局等関係機関と連携しながら，保冷施設整備の推進を図る。 ・協議会において，施設の運営・管理についての，情報共有，意見交換を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。					
	各市町	・事業計画の策定など，農協や盛岡広域振興局等関係機関と連携しながら，保冷施設整備の推進を図る。 ・協議会において，施設の運営・管理についての，情報共有，意見交換を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。					
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成 32 年度)	
施設整備率（↑）		—		0 % (平成 30 年 12 月末)		100%	
(出所・出典) 新岩手農業協同組合							

イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(7) 道路等の交通インフラの整備・維持

見込まれる成果

・幹線道路の整備が進むことにより、地域間交流や公共交通の利用促進等、地域間のネットワークの強化につながる。

成果指標（KPI）	成果指標設定時値	現状値	目標値 （平成 32 年度）
整備予定区間のうち供用できた延長割合（↑）	0 % （平成 28 年度）	<u>0 %</u> （平成 30 年度）	100%
（出所・出典）盛岡市			

○実施を計画する事業（★：新規事業，☆：拡充事業）

No,	41	事業名	幹線道路整備事業（津志田白沢線）			
関係市町名	盛岡市， 矢巾町					
事業概要	盛岡市と矢巾町をつなぐ幹線道路の整備を行う。					
見込まれる成果	周辺には都南図書館， 都南文化会館や都南中央公園等公共施設が集中しているため， 本路線の整備により当該地域の安全で円滑な交通の確保と周辺の都市計画道路等との有機的な連絡による地域間交流・連携の機能向上を図るものである。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	48, 372	70, 000	<u>132, 188</u>	<u>86, 000</u>	145, 000	<u>481, 560</u>
役割分担，費用負担	盛岡市	・ 未整備区間 1, 880m の整備を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・ 整備完了区間の維持管理を行う。				
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値(平成 32 年度)	
整備予定区間（第 1 工区） 内の供用延長距離（↑）		0 m (平成 28 年度)	<u>0 m</u> (平成 30 年度)		160m	
(出所・出典) 盛岡市						

No,	42	事業名	幹線道路整備事業（市道谷地頭線（厨川工区））			
関係市町名	盛岡市，滝沢市					
事業概要	盛岡市と滝沢市をつなぐ幹線道路の整備を行う。					
見込まれる成果	地域間交流や医療，産業振興，防災などのネットワーク強化を図ることができる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	<u>16,837</u>	<u>11,000</u>	<u>26,430</u>	<u>53,663</u>	<u>217,880</u>	<u>325,810</u>
役割分担，費用負担	盛岡市	・ 未整備区間 990mの整備を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・ 整備完了区間の維持管理を行う。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値(平成 32 年度)	
整備予定区間内の新設歩道（北側）の供用延長距離（↑）		0 m (平成 28 年度)		<u>0 m</u> (平成 29 年度)	200m	
(出所・出典) 盛岡市						

○今後検討する事業（★：新規事業，☆：拡充事業）

事業名	事業概要
圏域の連携強化につながる国・県道の整備促進【★】	高次救急医療や地域間交流，産業振興，防災などのネットワーク強化を図るため，国道や主要な県道の整備促進について，国をはじめとする関係機関等への要望活動などを行う。

(イ) 地域内外の住民との交流・移住促進

見込まれる成果

- ・移住・定住の候補地としての各市町の発信力が強化される。
- ・圏域外との人的交流の機会がこれまでよりも増加し、人口の増や産業振興、地域づくり等を担う新たな人材の確保につながる。

成果指標 (KPI)	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)
インターンシップへの参加 事業者数 (↑)	64 企業 (平成 28 年度)	<u>85 企業</u> (平成 29 年度)	90 企業
(出所・出典) 8 市町			

○実施を計画する事業 (★：新規事業，☆：拡充事業)

No,	43	事業名	インターンシップ事業【★】			
関係市町名	8 市町					
事業概要	就職を目指す高校生の地元定着を図るために、インターンシップを受け入れる事業所を開拓し、実習を希望する高校生とのマッチングを行う。					
見込まれる成果	圏域全体で受入れ企業を開拓し、実習の受入体勢を整備することにより、高校生に多くの業種や地元企業の周知ができ、県内に就職する高校卒業者の増が見込まれる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	575	475	20	115	115	1,300
役割分担, 費用負担	盛岡市	・本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・本事業の実施に協力して取り組む。（実習を受け入れる企業の開拓、管内の高校への周知等） ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成 32 年度)
インターンシップへの参加事業者数（↑）		64 企業 (平成 28 年度)		85 企業 (平成 29 年度)		120 企業
(出所・出典) 8 市町						

No,	67	事業名	U I J ターン就職支援事業【★】			
関係市町名	8 市町					
事業概要	県外在住の若者等を盛岡広域圏での就職に導くために、地元企業の情報発信力及び採用力の強化を図るための研修会を開催するとともに、PR ツール製作等の伴走的支援を実施する。また、事業による支援を受けた企業等と連携しながらモデル事例を構築し、盛岡広域企業に事業の成果を波及させる。					
見込まれる成果	U I J ターンを検討している方や就職を控える若者及びその家族等に対する地元企業の訴求力を高めることにより、地元就職率の向上が見込まれる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	0	0	7,000	4,617	4,617	16,234
役割分担、費用負担	盛岡市	・本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・本事業の実施に協力して取り組む。（事業に参画する企業の開拓、管内の企業への周知等）				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値(平成 32 年度)	
盛岡公共職業安定所管内への就職率(%)（↑）		38.1% (平成 28 年度)		39.1% (平成 29 年度)	40.0%	
(出所・出典) 盛岡公共職業安定所						

No,	68	事業名	盛岡広域移住・定住促進事業【★】			
関係市町名	8 市町					
事業概要	地方創生における人口減少対策のうち、各市町に共通する課題と考えられる「首都圏からの移住促進」について、盛岡広域振興局との連携を視野に入れながら、盛岡広域圏が一体となり取り組むことで、情報発信や相談支援などの事業展開を効果的に行う。					
見込まれる成果	移住促進について、各市町が強みを活かしながら盛岡広域圏としての一体的に取り組むことで、より良いイメージを形成することが可能となり、首都圏在住者に対する訴求力の向上に資する。また移住希望者にとって選択の幅も広がり、他都市との差別化を図ることが可能となる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	-	-	2,484	<u>2,484</u>	0	<u>4,968</u>
役割分担、費用負担	盛岡市	・本事業に係る事務担当を担うほか、企画・運営を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・本事業の実施に合わせ、必要な情報提供を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値(平成 32 年度)	
作成した冊子の配布数（↑）		0 冊 (平成 29 年度)		<u>0 冊</u> (平成 30 年 11 月末)	1,000 冊	
(出所・出典) 8 市町						

No.	69	事業名	地域おこし協力隊活動支援事業【★】			
関係市町名	8市町					
事業概要	地域おこし協力隊員の着任後のフォローアップやスキルアップについて、他都市事例等から、隊員の増加により適切な対応が難しいといった事例が散見され、盛岡広域においても同様の課題が想定されることから、地域おこし協力隊員や自治体職員を対象に、情報・ノウハウ共有と、より効果的な隊員のフォローアップやスキルアップを目的とした事業を民間委託により実施する。					
見込まれる成果	盛岡広域における自治体職員・隊員・知見を有する民間事業者の3者で事業展開することで、地域おこし協力隊の円滑な活動を支援する仕組みを構築するとともに、情報・ノウハウ共有と、より効果的な隊員のフォローアップやスキルアップを図る。					
年度別事業費（千円）	28実績	29実績	30見込	31見込	32見込	計
	-	-	2,000	2,000	2,000	6,000
役割分担、費用負担	盛岡市	本事業に係る事務担当を担うほか、委託業者や広域市町の地域おこし協力隊担当部署との連絡調整を行う。				
	各市町	本事業の実施に伴い、広域市町の地域おこし協力隊員との連絡調整を行うほか、情報交換会等に参加する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成32年度)
地域おこし協力隊着任期間後の定着率（↑）		50% (平成27年度)		50% (平成29年度)		65%
(出所・出典) 8市町						

(ウ) 上記に掲げるもののほか、結びつきやネットワークの強化に係る分野

見込まれる成果

・消費生活相談に関する事業が実施されることにより、住民生活の安心の向上につながる

成果指標 (KPI)	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)
圏域の消費生活相談における解決率 (↑)	98.7% (平成 27 年度)	<u>98.4%</u> (平成 29 年度)	99.0%
(出所・出典) 盛岡市			

○実施を計画する事業 (★：新規事業，☆：拡充事業)

No,	44	事業名	消費者行政の共同実施			
関係市町名	8 市町					
事業概要	・ 消費者行政（消費生活相談，啓発等）の共同実施を円滑に推進する。 ・ 共同実施を円滑に実施するための協議を行う。 ・ 消費者行政に必要な情報及び知識等を得る研究を行う。					
見込まれる成果	圏域全体で取り組むことにより，各市町が個別に取り組む場合と比較して効率的かつ合理的に消費者行政の推進が図られる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	5, 100	5, 305	4, 950	<u>2, 990</u>	<u>2, 990</u>	<u>21, 335</u>
役割分担，費用負担	盛岡市	・ 盛岡市消費生活センターを「盛岡広域消費生活センター」として位置付け，主体的に運営するとともに，広域市町と情報共有しながら連携する。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・ 盛岡広域消費生活センターとの情報共有などの連携を図る。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成 32 年度)
圏域の消費生活相談における解決率（↑）		98. 7% (平成 27 年度)		<u>98. 4%</u> <u>(平成 29 年度)</u>		99. 0%
(出所・出典) 盛岡市						

No.	70	事業名	電子入札等基盤整備事業【★】			
関係市町名	8市町					
事業概要	・盛岡広域市町間で契約事務に関して協議できる場を設け、相談・研修等を共同で実施するとともに、契約事務における広域での事務の効率化を推進するもの。 ・具体的には、建設工事及び建設関連業務委託、物品の買入れ等の入札及び入札参加資格希望事業者の登録等の契約事務における紙ベースでの事務処理を可能な限り電子化し、登録事業者の利便の向上及び事務処理の効率化を図る。 ・なお、契約事務は全自治体で行われているが、入札等に際して必要となる資格登録については、同じ事業者が県及び盛岡広域8市町の複数自治体に登録するケースがほとんどであり、広域単位で資格登録のシステムを整備することが効果的であることから連携中枢都市圏構想に基づき実施するものとする。 ・盛岡広域市町での電子入札については、各市町が必要性を判断し実施するものとするが、盛岡市は導入を検討とする市町への情報提供を行うものとする。					
見込まれる成果	・盛岡広域市町による契約事務のノウハウ、情報の共有 ・入札参加資格申請事業者の大幅な利便の向上（広域ワンストップサービスの提供） ・広域市町における入札参加資格申請業務の大幅な軽減					
年度別事業費（千円）	28実績	29実績	30見込	31見込	32見込	計
	0	0	1,417	36,734	7,187	45,338
役割分担、費用負担	盛岡市	・盛岡広域8市町の契約担当課との意見交換会の事務局機能 ・入札参加資格申請に係る共通審査事項の審査、盛岡市分に係る個別審査事項の審査、格付け等 ・システム開発、運用に係る契約事務				
	各市町	・各市町に係る入札参加資格申請個別審査事項の審査、格付け等 ・システム開発、運用経費に係る一部負担				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値(平成32年度)	
入札参加資格申請の電子化率（↑）		0% (平成29年度)		0% (平成30年度)	50.0%	
(出所・出典) 業務統計						

ウ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(7) 人材の育成

見込まれる成果 ・研修等がより充実し、職員の人材育成につながる。

成果指標 (KPI)	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)
広域他市町の研修に参加した職員の割合 (↑)	7.6% (平成 27 年度)	<u>8.2%</u> (平成 29 年度)	9.0%
(出所・出典) 8 市町			

○実施を計画する事業 (★：新規事業，☆：拡充事業)

No,	45	事業名	人材の育成			
関係市町名	8 市町					
事業概要	職員研修等を圏域内市町で共有する。					
見込まれる成果	研修等の共有化により，職員間の相互理解が深まるとともに，能力・資質の向上が期待できる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	0	0	0	0	0	0
役割分担，費用負担	盛岡市	・盛岡広域首長懇談会人材育成部会の運営を通じ，各市町間の情報交換や共通課題の検討を行う。				
	各市町	・必要に応じ，事業実施に協力して取り組む。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成 32 年度)
広域他市町の研修に参加した職員の割合（↑）		7.6% (平成 27 年度)		8.2% <u>(平成 29 年度)</u>		9.0%
(出所・出典) 8 市町						

(イ) 圏域内市町の職員等の交流

見込まれる成果

・各市町の職員間での人的ネットワークが強化され、広域連携の推進につながる。

成果指標 (KPI)	成果指標設定時値	現状値	目標値 (平成 32 年度)
圏域内市町の職員の交流に係る検討会議回数 (→)	1 回 (平成 28 年度)	<u>1 回</u> (平成 29 年度)	1 回/年
国民健康保険事業に関する会議・研修会の参加者数 (→)	318 人 (平成 28 年度)	<u>365 人</u> (平成 29 年度)	318 人/年
(出所・出典) 盛岡広域首長懇談会人材育成部会, 国保盛岡地区協議会事務局			

○実施を計画する事業 (★：新規事業, ☆：拡充事業)

No,	46	事業名	圏域内市町の職員の交流			
関係市町名	8 市町					
事業概要	新規事業や共同事業などによる個別の人事交流を実施するほか、職員の意識改革や能力・資質の向上が期待できる多様な形態の人事交流の実施可能性を検討し、人材育成の推進を図る。					
見込まれる成果	職員間の相互理解が深まるほか、各市町で行われている人事交流や派遣研修等の取組内容、成果等を検証することにより、行政ニーズに対応し得る人材育成につながることを期待できる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	0	0	0	0	0	0
役割分担、費用負担	盛岡市	・盛岡広域首長懇談会人材育成部会の運営を通じ、各市町間の情報交換や共通課題の検討を行う。				
	各市町	・必要に応じ、事業実施に協力して取り組む。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値(平成 32 年度)	
検討会議開催回数（→）		1 回 (平成 28 年度)		<u>1 回</u> (平成 30 年度)	1 回/年	
(出所・出典) 盛岡広域首長懇談会人材育成部会						

No,	47	事業名	国保盛岡地区協議会事業			
関係市町名	8 市町					
事業概要	国民健康保険事業に関する情報交換や各種研修会等を，総務部会や保健活動部会などの各部会において実施する。					
見込まれる成果	国民健康保険事業の健全な運営の確保と国保関係者の資質の向上及び平成 30 年度の広域化に向けた情報の共有が図られる。					
年度別事業費（千円）	28 実績	29 実績	30 見込	31 見込	32 見込	計
	1, 186	1, 413	1, 497	1, 497	1, 497	7, 090
役割分担，費用負担	盛岡市	・各種事業を企画，実施するとともに，広域的な調整を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	各市町	・協議会が開催する各種事業へ参加するとともに，輪番で担当となる事業の企画運営を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値(平成 32 年度)
国民健康保険事業に関する会議・研修会の参加者数（→）		318 人 (平成 28 年度)		<u>365 人</u> <u>(平成 29 年度)</u>		318 人/年
(出所・出典) 国保盛岡地区協議会事務局						

盛岡広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会委員名簿

No,	氏 名	所属・役職等
1	浅 沼 幸 男	株式会社コストソリューション 代表取締役社長
2	<u>天 坂 孝 治</u>	株式会社北日本銀行 営業統括部副部長兼地域事業支援室長
3	小野寺 純 治	岩手大学長特別補佐・特任教授 ふるさといわて創造プロジェクト推進コーディネーター
4	堺 康 規	株式会社テレビ岩手 報道制作局次長
5	鈴 木 昭 博	盛岡商工会議所 産業振興部長
6	鈴 木 勝	株式会社T A C T興業 代表取締役
7	高 橋 宏 昇	ジョブカフェいわて センター長
8	高 橋 時 夫	(一社)八幡平市観光協会 専務理事
9	<u>三 浦 秀 夫</u>	岩手県農業協同組合中央会 参事
10	山 井 正 人	有限会社山井建設 代表取締役
ワザハ	早 坂 寛	盛岡広域振興局経営企画部 企画推進課長

(敬称略。委員は 50 音順)